

小林秀雄著『本居宣長』：二十章主題(『萬葉』歌集成立の問題に於ける師弟對立)の「關係論」的纏め。

### 《宣長說》

①『萬葉』歌集成立の問題(物:場 C')②契沖③全二十巻を「家持」私撰(物:場 C')⇒からの關係:①についての敬問。「④:即ち②に従つての③を主張」(D1の至大化)⇒「⑤:眞淵說」(④的對立概念F)⇒E:⑤に眞つ向から反對。かつ、現行本の巻の次第も改めるべきものとする意見を提出」(⑤への距離不獲得:Eの至小化)⇒宣長(△梓):②③への適應正常。

### 《眞淵說》

\* ①『萬葉』(物:場 C')②橘諸兄撰(物:場 C')③古傳の考證(物:場 C')⇒からの關係:①は②になるものといふ⑥の考へは、「④:ただ③に立つた説ではない」(D1の至大化)⇒「⑤:『高き直きところ』さながらの姿」(④的對立概念F)⇒E:上代の⑤を寫し出した、『萬葉集』の原形といふものを、どうあつても想定したい、その希ひによつて育成された固い信念でもあつた」(⑤への距離獲得:Eの至大化)⇒⑥眞淵(△梓):①②への適應正常。

\* ①『其意を感ひ給ふらむ』(物:場 C')⇒からの關係:④は用捨しなかつた。「②:『貴兄(宣長)は、いかで①』と、④は疑ひを重ねて來たのである」(D1の至大化)⇒「③:『信じ給はぬ氣、顯は』也」(②的的概念F)⇒E:この弟子(宣長)は何かを隠してゐる。従へないのではない、従ひたくないのだ。③と斷ずる他はなかつた」(③への距離獲得:Eの至大化)⇒④眞淵(△梓):①への適應正常。

(物:場 C')

《宣長》:①『萬葉』歌集成立の問題(物:場 C')②契沖③全二十巻を「家持」私撰(物:場 C')

~~~~~

《眞淵》:

\* ①『萬葉』(物:場 C')②橘諸兄撰(物:場 C')③古傳の考證(物:場 C')。

\* ①『其意を感ひ給ふらむ』(物:場 C')。

からの關係(D1の至大化)

《宣長》:

①についての敬問。「④:即ち②に従つての③を主張」(D1の至大化)。

《眞淵》:

\* ①は②になるものといふ⑥の考へは、「④:ただ③に立つた説ではない」(D1の至大化)。

\* ④は用捨しなかつた。「②:『貴兄は、いかで①』と、④は疑ひを重ねて來たのである」(D1の至大化)。

E: [F(言葉・概念)との附き合ひ方・用法]...「So called」「Fと(△梓)との距離獲得」(Eの至大化)。

《宣長》: \* ⑤に眞つ向から反對。かつ、現行本の巻の次第も改めるべきものとする意見を提出」(⑤への距離不獲得:Eの至小化)。

~~~~~

《眞淵》:

\* 上代の⑤を寫し出した、『萬葉集』の原形といふものを、どうあつても想定したい、その希ひによつて育成された固い信念でもあつた」(⑤への距離獲得:Eの至大化)。

\* この弟子(宣長)は何かを隠してゐる。従へないのではない、従ひたくないのだ。③と斷ずる他はなかつた」(③への距離獲得:Eの至大化)。

(△梓)

宣長・眞淵

F(言葉・概念)...

《宣長》:「⑤:眞淵說」(④的對立概念F)

~~~~~

《眞淵》: \* 「⑤:『高き直きところ』さながらの姿」(④的對立概念F)。

\* 「③:『信じ給はぬ氣、顯は』也」(②的的概念F)。